

世界の仲間と連帯して取り組んだ

11.6 ウラン兵器禁止を求める国際共同行動デー

「ウラン兵器禁止を求める国際署名」を拡げよう！

11月6日、「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW)の呼びかけで、ウラン兵器の禁止を訴える初めての国際共同行動デーが取り組まれました。欧米の各国で、日本各地で、ICBUWの呼びかけに応じて、集会・パレード・街頭署名・コンサート・政府への抗議行動など、さまざまな行動が行われました。

11月6日は、国連で決議された「戦争と武力紛争による環境収奪を防止する国際デー」(2001年、国連総会)でもあります。アナン国連総長も「国際デー」のメッセージ(2002年)の中で「劣化ウラン兵器のような新たな技術が、環境への未知の脅威をもたらしている。戦争による環境への被害は、平和の回復と社会の再建への障害にもなっている。」とウラン兵器を批判しています。長期にわたる環境と生態系の汚染と、放射能・化学毒性による人々の健康被害を及ぼすウラン兵器は、「戦争と武力紛争による環境収奪」をもたらすものとしても、国際的に強く糾弾されなければなりません。

関西では、多くの団体、個人の賛同、協賛を得て、大阪、神戸で、「ウラン兵器禁止を求める国際署名」の街頭署名、集会、ライブコンサートに取り組みました。大阪では、JR大阪駅前などで街頭署名を行い、ウラン兵器禁止と自衛隊の撤退を訴えました。福井や京都、奈良からも思いを同じくする仲間が行動に参加しました。1時間半という短時間でしたが、300を越える署名が集まりました。通りかかった人の中には自ら進んで署名しに来てくれる人もあり、カンパをしてくれる人もありました。また、ウラン兵器のことを知らなかった中学生や高校生が、話しをする中で理解し、署名をしてくれたりもしました。集会では、反核・平和、反原発、環境保護など、さまざまな運動に取り組む仲間とともに、今後も粘り強くウラン兵器禁止と、被害者への支援を求める運動を続けてゆくことを確認し合いました。

今後も、世界で思いを同じくして運動に取り組む人々とともに、そしてウラン兵器の被害者と連帯し、「ウラン兵器禁止を求める国際署名」を拡げ、ウラン兵器の禁止を実現させましょう！

各地の署名取り扱い諸団体、個人を通じて、12月13日現在、「ヒバク反対キャンペーン」DU担当で集約してる署名数は2万筆余りです。(署名は広島をはじめ、日本の各地でも取り組まれ、集約されています。)

署名取り扱い団体、個人を募っています。引き続きご協力お願いします！

署名用紙は <http://www1.odn.ne.jp/hibaku-hantai/> で、ダウンロードできます。

国際署名の集約/連絡先：〒663-8183 西宮市里中町 2-1-24 「ヒバク反対キャンペーン」DU担当 振津
e-mail: du-ban-hibaku@theia.ocn.ne.jp

署名のためのカンパの郵便振り込みは下記にお願いします。

口座番号：00960-1-259767、口座名称：ウラン兵器禁止にお願いします

